

後輩たちへのエール！ その7

2020年5月8日

自分で考え、決断する

◇今回は、丸茂勇輝さん（行政機関勤務）のエールです！

2012年度卒の丸茂 勇輝です。

「後輩たちへのエール」に寄稿する機会を与えていただき誠にありがとうございます。
高校卒業後は、富山大学薬学部に入學し、現在は医薬品の審査等を行う行政関係の機関で働いています。

皆さんのタメになる内容はなんだろうと考えた結果、高校生が抱えていると思われる悩みに対して、私の見解を述べさせていただきます。

さて、高校生の悩みをネットで調べてみると、
将来への不安、就職、進路が決められない等のアンケート結果がありました。
文系、理系、進学、就職等、今後の人生において大きな決断になるので、そのように考える人は多いと納得できましたし、当時私も同じようなことを考えていました。

どうしたら正解なのだろうか、という悩みに対し、私の考えは以下のとおりです。

決断をする時点ではわからない。
しかし、自分の考え（信念）を持って決断する。
その決断に責任を持つ。

当時、文系理系の選択に関する説明会での教師の話が印象に残っています。
「科目の好き嫌いで決定するべきではない。人生の半分を選択する気持ちで考えてほしい。」
といった内容だったと記憶しています。

富山大学薬学部に入學を決めたときは、将来は薬学に関係する仕事につくだらうと漠然とイメージしていました。
しかし、就職活動となると、申し込んだ会社が候補になるので、人生の半分どころでなく、限りなく可能性が狭まったと感じました。

第一志望の会社の最終選考の前に、既に内々定をもらったところをどうするかで迷いました。

周りは就職活動を終えている人も多かったので、私も早く終わりたいと焦る気持ちがありました。

しかし、結果として第一志望の選考を受けることを選択しました。

もともと、薬学部を志望した「多くの人の健康に貢献したい」という信念に近いと考えられるところにしようかと決断したからです。

私は、医者や看護師等は少人数だが直接的に、医薬品は間接的だが多人数に貢献できると考えていました。

第一志望の会社は、日本の製薬企業が開発する医薬品を審査するので、製薬企業よりも多くの医薬品に関わることができます。

そして、第一志望の会社で社会人3年目を迎えました。

いま話題になっている、昨今の事情への対応もあり、大変なことも多いですが、やりがいをもって働くことができているので、当時の決断は正しかったと言えます。

重要なことは、第一志望のところに就職できたことではなく、自分の信念を持っていたからこそ、その会社を第一志望に位置づけられ、決断することができた、ということです。

もしかしたら、自分の考えを持つことが難しい、という人もいるでしょう。

そういった人は、情報を批判的に捉えることを試してみてください。

そうなんだ、と鵜呑みにするのではなく、根拠はあるのか、なぜこれを言うのか、自分は賛成もしくは反対か等を考えることです。

例えば、本稿で言えば、卒業生の言うことだから正しいはずだと思わず、アンケート結果は本当にあるのか、あったとしても都合のよい結果だけを抜粋してないか等を考えることです。

実際のところ、アンケート結果には恋愛も入っていましたが、文章の都合上、除きました。

汗

ネタは、SNSやニュースで見つけられます。

繰り返しとなりますが、伝えたかったことは、

自分で考え、決断してください。

決断したら、一生懸命頑張ってください。

頑張りしただいで、決断は正解にすることができます。

本稿が、皆さんの悩みの解決の一助となれば幸いです。

(追伸)

本稿を書くにあたり、これまでの生活を振り返ったのですが勉強以外では、ずっと硬式テニスをやっていました。

高校生のときは、週末はよく中池公園でテニスしていました。

大学でも部活に入り、テニスに明け暮れる大学生活を過ごしました。

大学3年時より、研究室に所属するのですが、研究と併行して、続けていました。

そして、いまは会社のサークルで続けており、区民大会等に挑戦しています。

テニスに限らずですが、運動は、健康的ですし人との繋がりができるので、ずっと続けていきたいです。

サークルで知り合った人のおかげで仕事が円滑に進むことがあったので、縁は大事だなと実感しています。



写真1_テニス大会のワンシーン

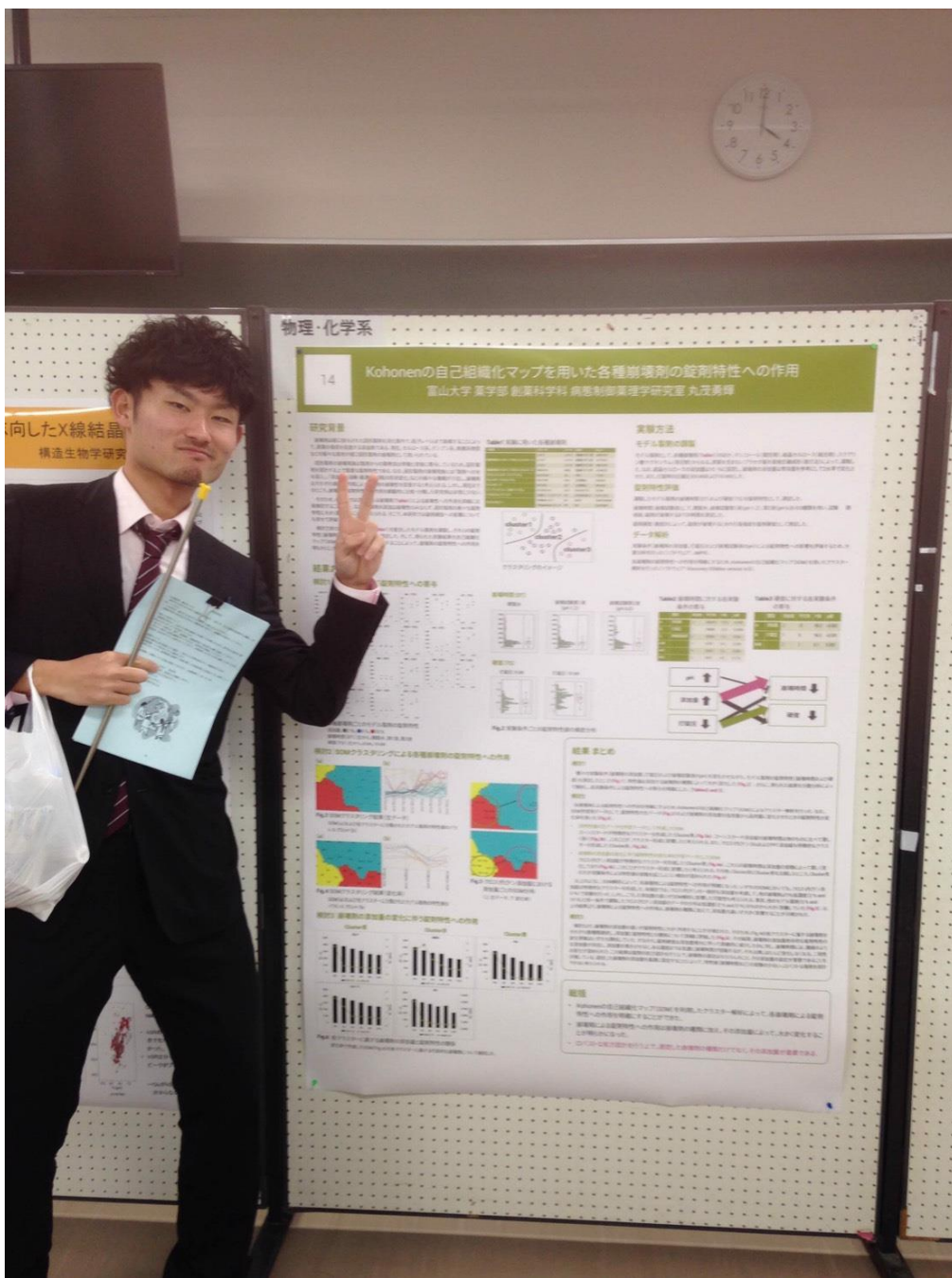


写真 2_研究発表の記念撮影



写真3_職場の近くにある日比谷公園のテニスコート